

ふれあいと繋がりの大切さを再認識

エールコート咲楽は、入居者の皆様に楽しみや生きがいを感じてもらうべく、お過ごしいただけるよう日常に多彩な活動を取り入れている介護付有料老人ホームです。外出イベントやボランティアの皆様との交流は、コロナ禍において自粛して参りましたが、昨年11月から対策を徹底したうえで徐々に再開しています。

この期間は創意工夫を加え、形を変えての実施、活動の充実を図りました。特に身体機能の維持や免疫力アップの取り組みを強化、看護師や作業療法士等の専門職の関わりを増やし、道具を使った体操・上肢下肢の強化・呼吸法・腸運動・口腔機能低下予防・各種脳トレなどバリエーションを持たせて実施し、また精神的不安や怖さから不穏になったり表情も硬くなりがちであることに精神的ケア、笑顔とコミュニケーションの時間を大切にしました。「コロナに負けるな!」と心を一つにできましたことは私たちの最大の喜びです。そして季節感のある食事や行事(最近では干し柿作り)に漬物、正

月飾り(昔を懐かしみ、食べる・作る・語らうことは大きな魅力となりました。それでも2年ぶりのりんご狩りやボランティアの皆様によるコンサートは、コロナ禍では見られなかった晴れやかさがあり、社会との繋がりがやふれあいの大切さを改めて実感致しました。自粛期間中の面会はテラスなどで短時間と制限しつつ、ご理解ご協力を得ながらも『肌感を大切に直接触れ合う面会』を通すことができました。また毎月ご家族にお届けしている施設便り「咲楽メール」(生活ぶりの他、お知らせ、お願い、今後について、医療面等)を充実させ、大変ご好評頂き、今後ご家族とのコミュニケーションツールとして活かしていくつもりです。

咲楽らしさの中に新しい日常を加味して、より安心・安全な暮らしをご提供できるよう努めて参ります。コロナ終息を願いつつ今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

病院から
ご自宅から
施設から

介護付有料老人ホーム **エールコート 咲楽**

~いつもあなたが、まん中にいる。~

TEL.0263-85-3330

松本市今井6988-1 <https://yc-sakura.com>



「咲楽メール」では、施設からのお知らせと共に、行事・イベントなどを楽しんでいらっしゃる写真、さらにご入居者様の日常を一番よく分かっている担当職員からの手書きメッセージ、専門職からのコメント等を添えて、ご家族にお伝えしています



いつも見守ってくれるお地蔵様のために昨年マフラーを指編みしました



1000個程の干し柿作りは毎年の恒例行事



幅広い世代の女性の健康を支える

かかりつけ病院として
地域医療を推進

穂高病院は、昭和41年に開院して以来、地域社会への貢献を目指して患者さんを中心とした医療を提供しています。地域に根づく基幹病院として、また皆さまのかかりつけ病院として、地域医療を推進してきました。

女性の健康を
総合的にサポート

当院は安曇野市内で唯一、紹介状なしで受診、分娩が可能な施設で、年間約500件の分娩を扱っています。産婦人科は昨年4月から常勤医が増え4人体制になり、診療体制の強化が進んでいます。

平成29年の小児科開設により、妊婦健診から分娩、出生後の赤ちゃんの診察まで継続したサポートが可能になりました。信州大学医学部附属病院や長野県立こども病院とも連携し、より安心していただける医療を提供しています。

不妊治療の実施や腹腔鏡下手術導入は、より幅広い世代の婦人科疾患への対応を実現しました。女性が自身で思い描いた健康的な生活を送られるよう、これからは総合的にサポートして参ります。



患者さんの負担を軽減
17年に、

手術療法の選択肢の一つとして腹腔鏡下手術を導入しました。おなかを切らなく、患者さんの負担を軽減し、早期の社会復帰を目指せます。導入により今まで他施設への紹介を必要としていた患者さんの手術が可能になっただけでなく、他院から紹介いただく患者さんも増えました。腹腔鏡下手術では子宮や卵巣を温存したい人に適応する手術も行います。特に不妊治療においては、手術後、適切な治療に早くつながることが期待されています。加えて、中高年女性に多い子宮脱の手術においても、合併症や再発が少なく、安全で、患者さんの負担の少ない治療を提供し、生活の向上を願って取り組みます。



医療法人 仁雄会 **穂高病院**

安曇野市穂高4634 TEL:0263-82-2474 <https://hotaka-hospital.or.jp>

診療科
・内科・外科(乳腺・甲状腺)
・整形外科・小児科
・産婦人科・眼科・形成外科
・リハビリテーション科
・人間ドック・透析